

小さな町のオリンピックピック!

町民の融和と交流を目指して

西予市城川町は、遊子川、土居、高川、魚成の4地区から成っており、人口3,874人(平成24年11月30日現在)、面積127.31kmの町です。主な産業は農林業で、クリやユズ、トマトの生産が盛んです。

城川町では、昭和43年から町民の融和・交流の場として4地区対抗の「城川オリンピック」を毎年10月の体育の日の前日に開催しています。オリンピックの特色を5つご紹介いたします。①聖火②競技種目③審判団④表彰⑤応援パネル・ダンスです。聖火は、4地区から1人ずつ選ばれた青年たちがリレーで繋ぎ、特設の聖火台へ点火します。



会場内を一周する
聖火ランナー

競技種目は、「ポンつき玉入れ」や「急げボンコツ」、「竹馬競争」などユニークなものばかり。体協役員やスポーツ推進委員で検討委員会を立ち上げ、種目改正などを行っています。審判団は、教員やスポーツ推進員OBで構成。すべての種目に審判員を配備し厳正な判定をします。表彰は種目毎に行います。表彰台に上

がった選手に金銀銅のメダルとブーケが授与されます。最後に、各分会が創意工夫を凝らした応援パネルや地元小学生などと一緒に行う応援ダンスで大会を盛り上げます。

それでは各分会の自己アピールを紹介します。

団結! ゆずかわBLUE!

(遊子川分会)

チームカラーが青の遊子川分会は、最も人口が少ない地域です。

しかし、地域持ち前の団結力で他分会と対抗し、今年は見事総合優勝を果たしました。

選手は、本番の2週間前ぐらいから競技の練習を夜間に励みます。その間大会で使用する道具類も入念に手入れをします。

各分会が用意する「急げボンコツ」に使用する車両は、昨年選手の皆さんや地域内の大工さんなどが協力し作り上げたものです。

今年も、大会前日に車輪が破損するといふ大変なアクシデントに見舞われましたが、みんなで協力しあって、少しでも早く進めるよう本番ギリギリまで調整がなされました。

結果、体力のとても必要なこの競技です



「急げボンコツ」の車両を整備する選手たち

が、平均年齢の高い遊子川分会が見事に1位を獲得しました。

こうした、地域一丸となって取り組む団結力は、見ている方々にも大いに感動を与えるものであり、とてもすばらしい地域だと思えます。

地域の熱意! 迫力の大応援パネル!!

(土居分会)

土居分会は、人口約980人、土居・古市・窪野の3地区が集まった分会です。これまでに優勝が7回と4地区の中では一番少ない優勝回数ではありますが、「みんなでオリンピックを楽しもう!」を合言葉に、準備・練習から大会当日まで地域一丸となって取り組んでいます。

オリンピック準備期間中は、特に応援パネルの制作に力を入れています。パネル賞が創設された年から、8年連続優秀賞をいただけてきました。作業は、土居地区の自称若いし「集楽館」のメンバー(平均年齢50歳)が中心となってアイデアを出し、地域のみなさんの協力を得ながら約20日間、土



西予市教育委員会
城川教育課
富永 時蔵



材を使って手掛けてきました。大会当日には、制作時の熱意がパネルの迫力となって表れ、選手たちの奮起に一役買っています。

高川最高!! (高川分会)

高川分会は、人口・世帯数とも2番目に小さな分会です。

選手の確保だけでも一苦労どころか、二苦労、三苦労といった状況ですが、「やるからには住民みんなで頑張ろう!!」と盛り上がり、日々の練習、そして当日を迎えます。

競技種目の中で、やはり目玉となるのは「オリンピックリレー」です。各年代から選ばれたスプリンターたちが熱戦を繰り広げるリレーは、会場のみならず手に汗握り、熱い視線を送るラストにふさわしい種目です。

居公民館ホールで連日連夜行います。他の分会のパネルとの大きな違いは、立体的に表現するという点です。毎年24枚のペニヤ板に、段ボール・かずら・布・かまぼこ板・タイル・空き缶・花・コケ・住民の手形や顔写真など、いろいろな素材



会場の皆が選手に視線を送る最後の種目オリンピックリレー

一杯やりながら今年の演目について全員で考えます。それから、本番前の2週間、ほぼ毎晩練習を行います。気は若いですが、多分にもれず高齢化、最初は体がついていかないうる者ばかりです。そ

現在、城川オリンピックピックは、メインとなる競技の部、ダンスで盛り上げる応援の部、応援席のバックを彩るパネルの部の三部門で競い合います。今回は、魚成分会が競技と並んで力を入れている「応援」の取り組みを紹介します。始まりは、オリンピックの約3週間前、魚成分会に召集がかかります。そして、最初の顔合わせ、懇親会で

応援の部で優勝(魚成分会)

今年の高川分会は、練習の成果もあって、2位のチームとは半周近くの差をつけ、見事に「ふつちぎり」で完勝。選手を応援する住民の声と楽しそうな笑顔、その声援を背に疾走する選手の姿は最高でした。そして、ウイニングランをする選手たちに惜しめない拍手が送られました。総合成績は、惜しくも1点差の2位でしたが、スポーツを通して地域が見事に一体となった秋晴れの一日でした。いや、スポーツって本当にすばらしいですね!!



種目毎に行う表彰式

少子高齢化により、城川地域をとりまく環境は大変厳しいものがあります。地域の皆さまとともに伝統ある城川オリンピックの継続を図ることに、地域の活性化に繋げて参りたいと思います。

おわりに

私たちの魚成分会は、最も人口の多い分会です。しかし、それでも年々、高齢化が進み、人口減少と相まって、参加者自体も減少しています。そのような中でも、城川オリンピックに関わることで、地域に多くの楽しみや笑いが生まれています。



今年の応援のフィニッシュ!! 手旗もたくさん製作し会場全体に配り盛り上げました